



12月



Merry Christmas

幸楽苑だより

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和7年 12月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



「秋の屋外散策に行ってきました！」

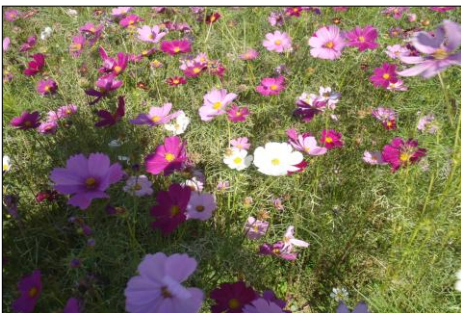
宇部幸楽苑 理学療法士

植田 洋平

師走を迎え、日増しに寒くなってきました。今年も、山口県を含む九州北部地方の梅雨明けが六月下旬であったこともあり、ただただ暑い長い夏の印象がつよく、あつという間に秋が過ぎ去ったように感じます。

そのような中、十月下旬～十一月上旬にかけて利用者様を花散策にお連れしました。当苑では、長引く感染症対策により外出機会が限られているため、少しでも季節を感じ気分転換を図っていただけに、気候のよい時期にリハビリ職が中心となり他職種と協力しながら屋外での散策を行っています。

今年度は、春には近くの川沿いの桜を楽しみ、初夏は宇部空港のバラを満喫しました。そして、秋は道の駅さらあじすのコスモス畑へ行きました。ちょうど見頃と重なり、心地よい空気と一面のコスモスに皆様、自然と顔がほころんでおられました。



また、隣のきらら博記念公園では、今春よりドーム周辺に中国地方最大級のフラワーガーデンがオープンしたということで期待して向かったところ、あいにく秋の植え替え作業中でした。しかし、広々とした美しい園内での「ティータイム」は格別のご様子でした。帰る途中には、東岐波から西岐波の沿岸を走り、光が当たり輝く海も見ることができました。こうした光景もさることながら、道中での車窓から見える馴染みのある場所や思い出を振り返りながら、生き生きと話される様子が印象的でした。たとえば、ささやかな外出であっても、利用者様にとってはよい刺激となり、心動かされるものがあるのだと実感しました。これからも安全に気をつけながら、屋外散策を継続していきたいと改めて思いました。まだまだ寒い日が続きますが、お体にご留意のうえ、よい年をお迎えください。

*裏面に皆様の写真がありますのでご覧ください。



「秋の屋外散策に行ってきました!②」



「徒然なるままに...」

2階 介護福祉士 安田 美歌

今年ももう少しで終わろうとしています。
1年があつという間に過ぎていきます。
話は変わりますが、私には3人の子供(長女、長男、次女)がいます。

今回は2番目の高校2年生になる息子の話をしたいと思います。

息子は中学生になる時に友人の勧めで剣道を始めました。最初は何も分からず初めた剣道ですが、今では高校の先生方をはじめ、いろいろな方々に稽古を付けてもらい強くなっています。息子は剣道が大好きで、部活の仲間とともに仲が良く、先輩達にもすごく可愛がられています。

息子の頭はいつでも剣道の事でいっぱいです。剣道をするのもいいですが、私的にはもう少し勉強にも励んでもらいたいと思っています...

寒い日が続きますが、皆様風邪等に気をつけて過ごしてください。

